



民間代表

日本鋪道株式會社

技師長 森 豐 吉

◎土木主任官會議の日取決定

本年度に於ける土木主任官會議は、六月十三、十四日の兩日に互り内務省第一會議室で開催のことに決定し、這般土木局長より各府縣知事宛通牒せらるゝ所があつた。

◎地方長官會議

長期交戦の體勢下に於ての國民總動員法の實施に依り時難克服に邁進すべき政府の方針を地方に徹底せしめ且第七十三議會に於て成立したる豫算の施行諸重要法律の實施に關し指導する爲五月二日より次の通り地方長官會議を開かれた。

二日 午前九時内閣總理大臣官邸參集總理大臣訓示十時

參内

◎第八回國際道路會議並同附設展覽會事務囑託

第八回國際道路會議並同附設展覽會は來る六月十八日より七月三日迄和蘭國海牙市に於て開催されるが、本會は政府並に民間の代表として出席される左記諸氏を本會囑託に依頼して、同會議並展覽會の事務を處理することとせり。

記

政府代表

大阪府土木部道路課

技師 長 久 保 俊 夫

東京市土木局道路管理課長

技師 山 本 亨

三日 午前九時内務省參集内務大臣訓示會議午後も引續  
き會議

四日 午前九時文部省參集文部大臣訓示會議十一時三十  
分宮内省參集直ちに宮内大臣訓示午後一時三十分水交社  
參集陸海軍兩大臣訓示

五日 午前九時橫須賀航空隊參集會議午後一時三十分内  
務省參集鐵道大藏兩大臣訓示會議

六日 午前九時内務省に參集遞信拓務兩大臣の訓示會議  
午後一時同省に於て厚生大臣訓示會議

七日 午前九時農林大臣官邸參集農林大臣訓示會議午後  
一時内務省參集司法外務商工各大臣訓示會議

### ◎北支方面赴任諸氏送別會

北支方面の土木事業開發の任務を受けたる、工學博士三  
浦七郎氏外四十五氏の送別會が五月十二日麴町區平河町寶  
亭に於て開催、安藤土木局長其他土木關係者約二百名の來  
會あり安藤局長送別の辭を述べられ三浦博士答辭を爲し頗

る盛會であつた。中國臨時政府派遣官氏名は左の如し。

三浦七郎(下關出張所) 由良民之助(岐阜縣) 高橋惠(土木局)

溝口新太郎(長崎縣) 小澤久太郎(土木試驗所) 井上靜三(千

葉縣) 佐藤寛政(土木試驗所) 立神弘洋(東京出張所) 秋草勲

(東京出張所) 鎌田菊男(北海道廳) 高村克己(東京出張所) 山

田正平(下關出張所) 鹽原三郎(東京委員會) 竹内修(京都委員

會) 中村達之助(埼玉縣) 平尾勝(土木局) 渡邊正雄(山梨縣)

三澤一二(仙臺出張所) 小山猛三(大阪府) 柳井三郎(石川縣)

八尾孝次(新潟出張所) 竹上義雄(大阪出張所) 藤本正人(大

阪府) 田寺元治(山梨縣) 佐野俊男(東京府) 猪瀨寧雄(千葉縣)

渡邊奎太郎(東京府) 永島國村(土木局) 吉岡信一(東京府) 白

石敏(東京府) 小川猛夫(茨城縣) 桑幡五郎(下關出張所) 木步

士清一郎(岐阜縣) 福田吉次(熊本縣) 笠原昌春(愛知縣) 中村

鶴藏(新潟出張所) 望月一輔(下關出張所) 早川淳一(愛知縣)

村井直也(仙臺出張所) 武藤一左久(千葉縣) 北澤眞佐志(長野

縣) 澁谷和夫(青森縣) 佐藤勇夫(青森縣) 畑中次雄(名古屋出

張所) 脇谷亘(大阪府) 伊藤徳助(名古屋出張所)

○内務省土木試験所談話會

昭和十三年五月中に開催したる土木試験所談話會に於ける話題は次の通りである。

第七十回技術談話會話題

時日 昭和十三年五月十三日(第二金曜)午後二—四時

場所 本郷區駒込富士前町二十六 内務省土木試験所講堂

一、土砂モルタルの比較乾燥試験：(三十分)山田技師

二、杭の水平支持力に關する一模型試験第一報

…(二十分)

松尾技師

三、コンクリートの振動及び養生温度の上昇による

早期強度の増強に就て：(三十分)

佐藤技師

以上

○近刊圖書雜誌

○大阪商工會議所月報(三七二號)

(武田鼎一氏)戰時經濟統制論

○鐵道軌道經營資料(四月號)

(喜安鐵道次官)陸上交通事業調整法の公布に際して、

鈴木清秀氏)陸交調整法に就て、山脇秀輔氏)陸交調整

法に關する主なる論點、阿部邦一氏)陸交調整法と都市、

菱谷惣太郎氏)陸交調整法の各條項改案の跡を顧みて、

壺田修氏)陸交調整法解説等)

○東大陸(五月號)

○三田學會雜誌(四月號)

(加田哲二氏)維新以前における領土擴張論)

○都市問題(四月號)

(水野鍊太郎氏)自治制施行五十年の回顧と地方自治の

諸問題其他地方自治に關する諸説)

○大大阪(五月號)

(全國都市美協議會豫告號)

○警察協會雜誌(五月號)

(松井茂氏)交通事故防止に就て)

○自警(五月號)

○石油時報(五月號)

○セメント界彙報（五月號）

○港灣（第一六卷第五號）

○電氣通信學會雜誌（一八一號）

○觀光聯盟情報（第二卷第四號）

○國立公園（五月號）

○技術日本（四月號）

○乗合自動車（第一二卷第四號）

○土木學會雜誌（第二四卷第五號）

○法律時報（五月號）

（中野登美雄氏『國家總動員法の憲法問題』）

○科學知識（第一八卷第五號）

○土質調査報告（第五輯）

（鐵道大臣官房研究所に於ての調査報告並論説集）

○土木建築工事畫報（五月號）

○都市公論（五月號）

○土木局第三十回統計年報

（昭和十一年度乃至同十三年度に互る直轄事業、地方土

木費、河川、港灣、砂防、災害、發電水力事業等に關する決算豫算及事實の調査）

○鬪之回顧（田邊良忠著）

元神奈川縣土木部長田邊良忠氏が不幸縣市疑獄事件に連坐し數年間惡戰苦鬪忍苦の實験を物語る實録及感想錄である、多數秋官の内には人情を解せず事理に盲にして自己の感情と判斷とを至上と信し妄りに豫斷を以て事案を判定し幾多善良なる民衆をして免るるに所なからしめ其冤罪に憤死するものさへ生ずるの不祥事は少なくない著者の確信と眞實と熱誠の情に迸り出でたる本書は實に田邊氏の血涙史である。一讀すれば或は戰慄を覺え或は落涙に堪えざらしむるのがある。尙井上秀二氏の序文は實に剴切の言で餘蘊なきを覺ゆる。

正 誤

前號（第二十卷第五號）八九頁上段六行目の次に左の二十六字を脱す、「是ハ御高見ノ通りニ、十分ニ研究致シタイト存ジテ居リマス」